

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年8月実績 速報版  
7月実績 確報版(パネル285)

(2014年9月22日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計  
※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

## 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーパーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

## 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

2014年9月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年8月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	87,485,048	100.0%	103.6%	101.6%
食品合計	77,040,753	88.1%	104.3%	102.1%
生鮮3部門合計	28,485,496	32.6%	108.2%	105.9%
青果	11,728,819	13.4%	104.7%	102.7%
水産	7,631,203	8.7%	107.5%	105.3%
畜産	9,125,474	10.4%	113.6%	111.0%
惣菜	8,810,688	10.1%	106.7%	103.8%
日配	16,254,209	18.6%	103.0%	100.9%
一般食品	23,490,360	26.9%	100.1%	98.1%
非食品	7,134,843	8.2%	98.5%	98.0%
その他	3,309,452	3.8%	96.5%	95.9%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	14,540,589	48	103.0%	100.2%
関東地方	30,352,746	73	106.5%	104.4%
中部地方	10,988,700	57	104.1%	103.3%
近畿地方	18,632,052	43	100.2%	98.5%
中国・四国地方	8,100,136	39	101.2%	99.3%
九州・沖縄地方	4,870,825	25	101.4%	100.3%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	968,008	53	101.0%	101.6%
4~10店舗	4,268,286	77	103.9%	102.8%
11~25店舗	11,987,602	72	101.3%	101.1%
26~50店舗	17,146,307	44	104.2%	102.3%
51店舗以上	53,114,845	39	103.8%	101.4%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	84,957,079	
総店舗数 (店舗)	7,333	店舗平均月商 (万円)	11,930	
総売場面積 (㎡)	11,986,749	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.3	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年9月22日

日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2014年7月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	82,302,102	100.0%	102.3%	100.2%
食品合計	72,308,380	87.9%	103.0%	100.7%
生鮮3部門合計	26,579,196	32.3%	105.4%	102.9%
青果	10,518,931	12.8%	101.5%	99.2%
水産	7,510,873	9.1%	104.8%	102.5%
畜産	8,549,392	10.4%	111.0%	108.1%
惣菜	7,797,677	9.5%	105.2%	102.1%
日配	15,863,912	19.3%	102.6%	100.5%
一般食品	22,067,595	26.8%	99.9%	97.9%
非食品	6,814,637	8.3%	96.7%	96.1%
その他	3,179,085	3.9%	95.9%	95.9%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,056,626	48	102.2%	99.4%
関東地方	29,644,428	73	104.4%	101.9%
中部地方	9,952,339	57	102.3%	101.3%
近畿地方	17,721,659	43	100.4%	98.2%
中国・四国地方	7,398,173	39	99.5%	97.7%
九州・沖縄地方	4,528,877	25	102.2%	101.5%

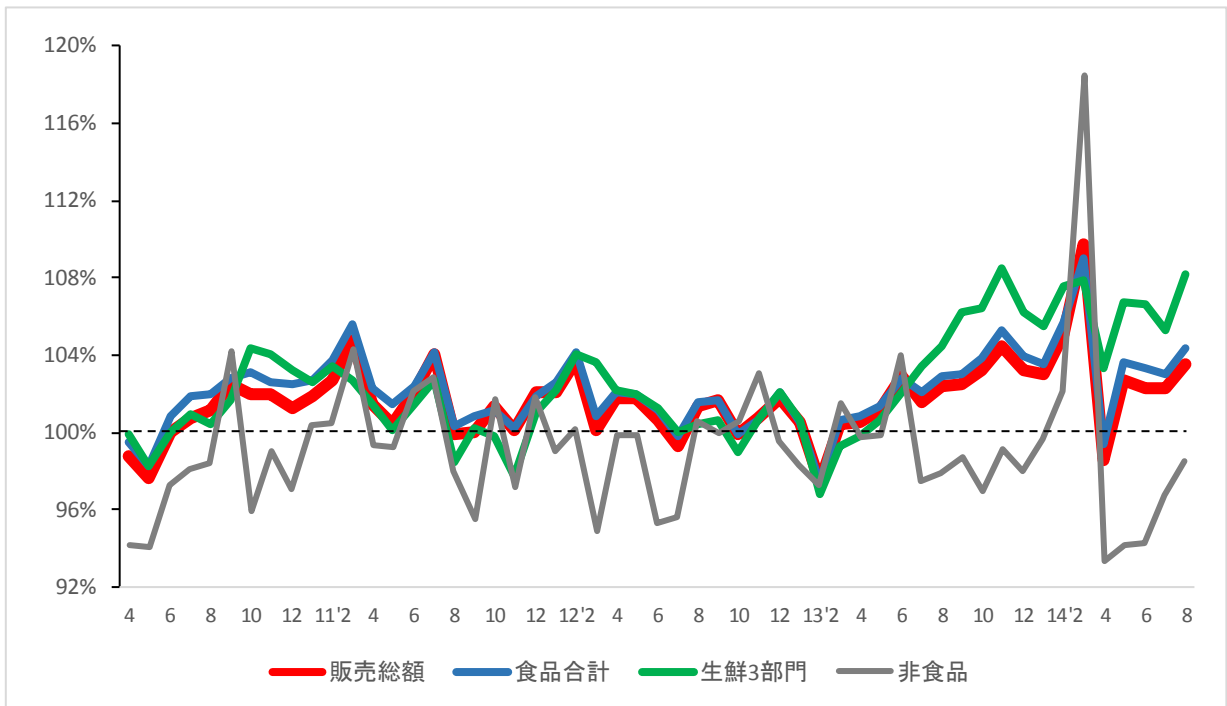
## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	858,311	53	99.4%	100.7%
4~10店舗	3,955,500	77	101.5%	100.4%
11~25店舗	10,870,075	71	100.9%	99.6%
26~50店舗	15,944,399	45	101.8%	100.3%
51店舗以上	50,673,816	39	102.9%	100.2%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	78,998,203	
総店舗数 (店舗)	7,339	店舗平均月商 (万円)	11,214	
総売場面積 (㎡)	11,980,439	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.9	

※売上高は税抜金額

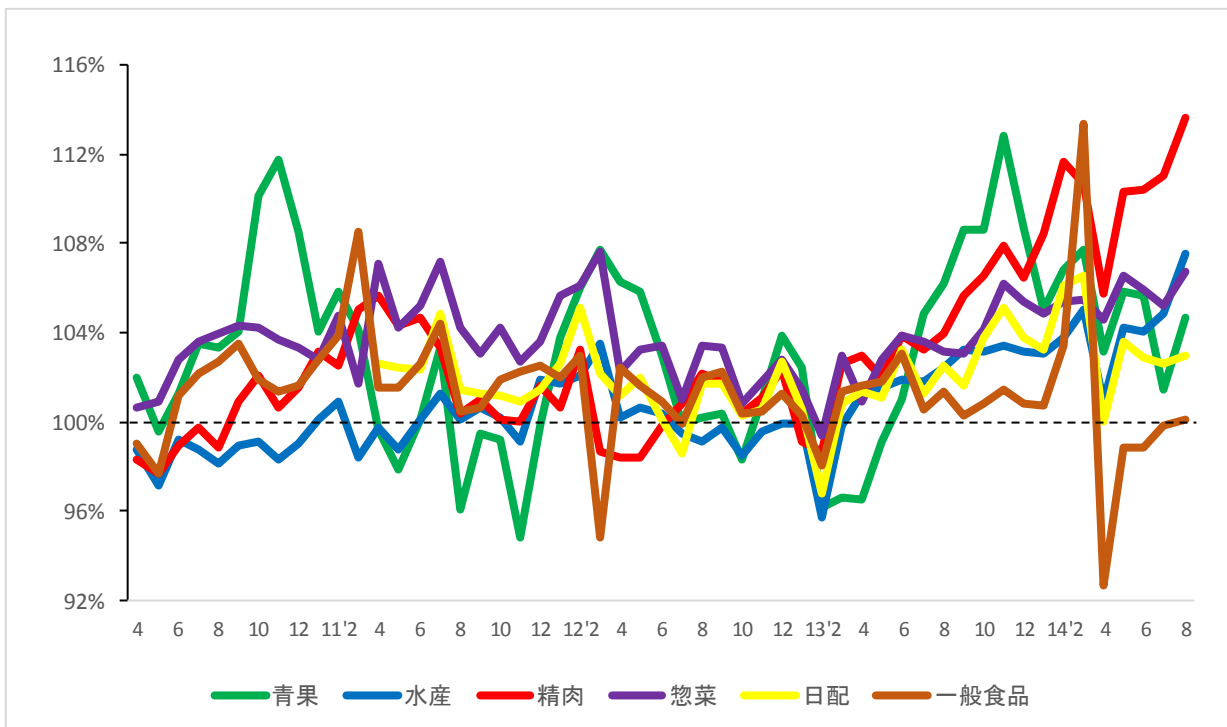
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年8月(全店ベース対前年同月比)  
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2014年7月までは確報版による前年同月比、2014年8月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年8月(全店ベース対前年同月比)  
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年7月までは確報版による前年同月比、2014年8月は速報版による前年同月比  
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

## 2014年8月エリア別気候状況

### ①平均気温

2014年8月(平年との比較)

上旬は東日本でやや高く、下旬にかけて全国的にやや高い気温となった

前年同月(2013年8月)と比較

上旬の北海道・東北を除き、中旬以降は全国的に前年に比べかなり気温が低くなった

	平年との比較(°C)								
	2014年8月			2013年8月(前年)			今年と前年との差(°C)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.7	0.0	-0.8	0.3	2.8	-0.2	1.4	-2.8	-0.6
東北地方	1.2	-0.3	-0.8	-0.1	2.6	0.3	1.3	-2.9	-1.1
関東甲信地方	1.0	0.4	-1.5	1.0	2.6	0.6	0.0	-2.2	-2.1
北陸地方	0.5	-0.8	-1.4	0.5	2.2	0.0	0.0	-3.0	-1.4
東海地方	-0.1	0.1	-1.3	1.3	2.3	0.8	-1.4	-2.2	-2.1
近畿地方	-0.8	-0.1	-1.3	0.9	2.3	0.2	-1.7	-2.4	-1.5
中国地方	-1.1	-1.3	-1.4	1.1	2.4	0.1	-2.2	-3.7	-1.5
四国地方	-1.1	-0.4	-1.0	1.7	2.2	0.5	-2.8	-2.6	-1.5
九州北部	-1.0	-1.2	-1.3	1.5	2.5	0.7	-2.5	-3.7	-2.0
九州南部・奄美地方	-0.1	-0.1	-0.4	1.4	1.6	1.2	-1.5	-1.7	-1.6

#### 平年差



#### 前年差



### ②日照時間

2014年8月(平年との比較)

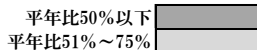
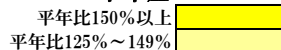
上旬の西日本を中心に月を通してかなり短い日照時間となった

前年同月(2013年8月)と比較

西日本を中心に前年に比べかなり短い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年8月			2013年8月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	90	89	149	92	73	92	-2	16	57
東北地方	81	55	82	87	134	115	-6	-79	-33
関東甲信地方	104	95	53	103	162	102	1	-67	-49
北陸地方	50	64	60	86	146	86	-36	-82	-26
東海地方	53	84	51	114	159	92	-61	-75	-41
近畿地方	30	77	55	102	164	79	-72	-87	-24
中国地方	18	40	61	93	164	74	-75	-124	-13
四国地方	17	61	64	110	154	86	-93	-93	-22
九州北部	26	48	56	103	167	78	-77	-119	-22
九州南部・奄美地方	39	81	89	121	140	98	-82	-59	-9

#### 平年差



#### 前年差



### ③降水量

2014年8月(平年との比較)

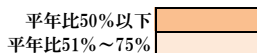
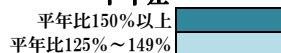
上旬は全国的に降水量が多く、特に西日本では平年の5倍以上の降水量となった

前年同月(2013年8月)と比較

前年に比べ全国的に上旬と中旬は非常に多く、下旬は少ない降水量であった

	降水量 平年比(%)								
	2014年8月			2013年8月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	242	228	112	93	153	159	149	75	-47
東北地方	251	98	84	115	98	121	136	0	-37
関東甲信地方	118	93	89	48	36	123	70	57	-34
北陸地方	419	203	153	163	59	359	256	144	-206
東海地方	268	119	75	98	1	75	170	118	0
近畿地方	837	194	149	121	1	209	716	193	-60
中国地方	553	211	140	208	5	458	345	206	-318
四国地方	910	80	137	35	1	200	875	79	-63
九州北部	335	210	144	72	7	472	263	203	-328
九州南部・奄美地方	295	67	50	36	18	75	259	49	-25

#### 平年差



#### 前年差



気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均  
スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

## 2014年9月調査結果(8月実績)

### (9月22日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

#### 【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

# I. 調査結果概況

## 景気判断は小幅に改善、見通し判断は横ばい

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は49.0と前月から+1.8と小幅に改善した。見通し判断については6月以降ほぼ横ばいでの推移となっている。

経営動向調査は、売上高DIが4.1（前月比+4.5）、収益DIは7.4（前月比+4.0）となり共に改善をみせた。生鮮品仕入DIは18.3（前月比+5.0）と大幅に上昇した影響もあり、販売価格DI 12.4（前月比+3.5）や客単価DI 12.6（前月比+3.6）が上昇している。来客数DIは引き続き改善をみせていない。

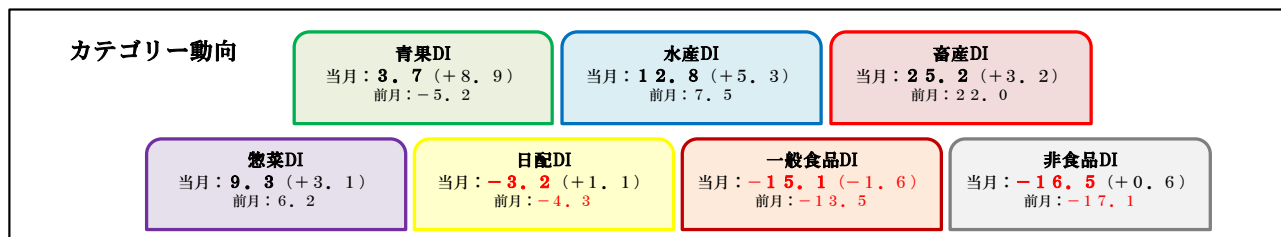
カテゴリ動向では、税率引き上げ以降、生鮮三品（青果、水産、畜産）と惣菜がプラス、一般食品や非食品でマイナスが続いている。なかでも相場高の追い風を受けている畜産はDIが25.2（前月比+3.2）と前月よりさらに上昇しており引き続きかなり好調である。前月マイナスとなった青果は再びプラスに回復、水産も12.8と好調である。惣菜はお盆商戦が好調で9.8となった。一般食品や非食品は前年との気温差が大きく夏物商材が不振であったことに加え、他業態との競合も加わり依然として改善には至っていない。

不安定な天候や前年からの気温差などの悪条件があったものの、日曜日が前年より一日多いことやお盆商戦が比較的好調であったため、全体的にやや改善した結果となった。一方で見通し判断は今月も横ばいでの推移を続けており、消費の先行きに対して慎重な見方は崩していない。

### 景況感調査



### 経営動向調査



( ) 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

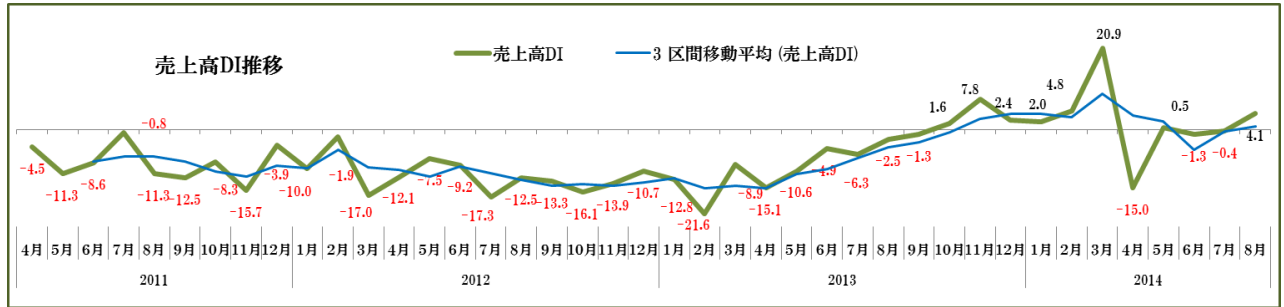
# I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

## ①売上高 DI

ゆるやかに上昇傾向

売上高 (前月)	6.9	30.6	23.3	35.8	3.4
売上高 (当月)	7.5	21.1	23.8	42.7	4.8

■ かなり減少   
 ■ やや減少   
 □ 変わらない   
 ■ やや増加   
 ■ かなり増加

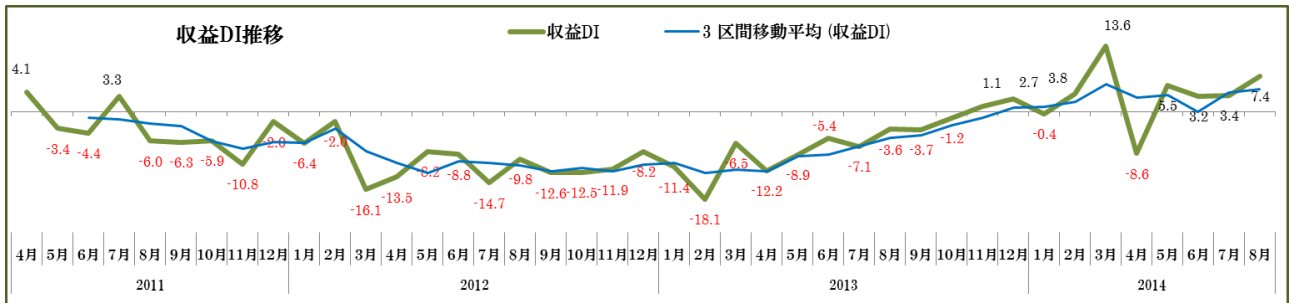


## ②収益 DI

5月以降はプラスで推移

収益 (前月)	6.1	23.0	29.1	34.8	7.0
収益 (当月)	5.8	17.0	27.7	41.1	8.5

■ かなり減少   
 ■ やや減少   
 □ 変わらない   
 ■ やや増加   
 ■ かなり増加

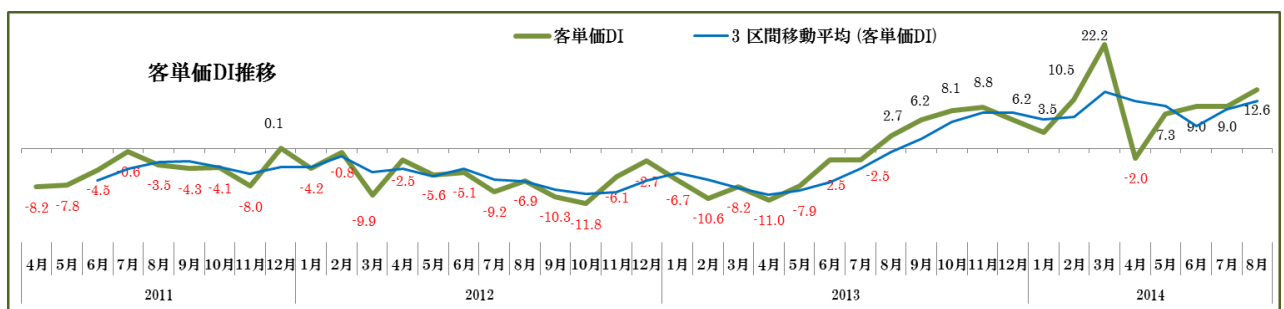


## ③客単価 DI

ゆるやかに上昇傾向

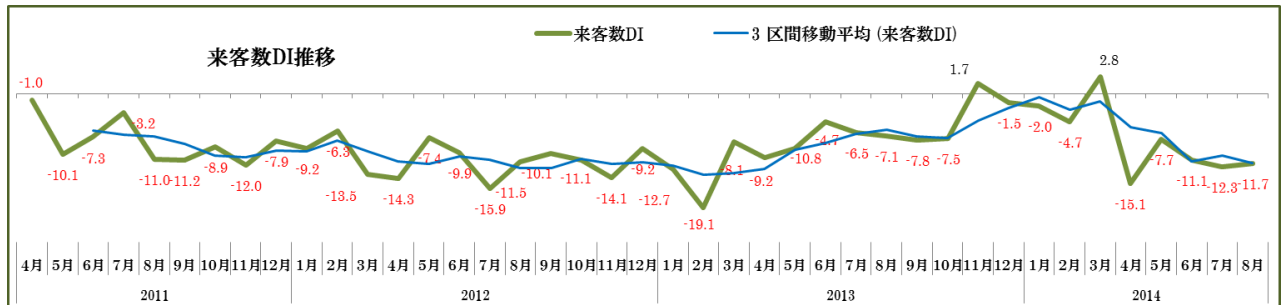
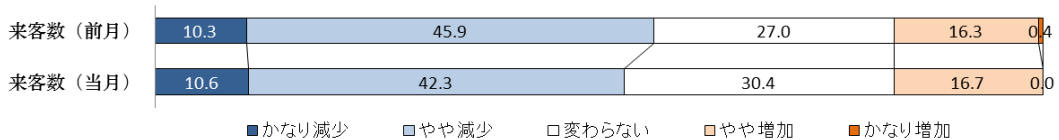
客単価 (前月)	0.9	16.3	30.9	49.8	2.1
客単価 (当月)	0.4	12.4	27.0	56.6	3.5

■ かなり減少   
 ■ やや減少   
 □ 変わらない   
 ■ やや増加   
 ■ かなり増加



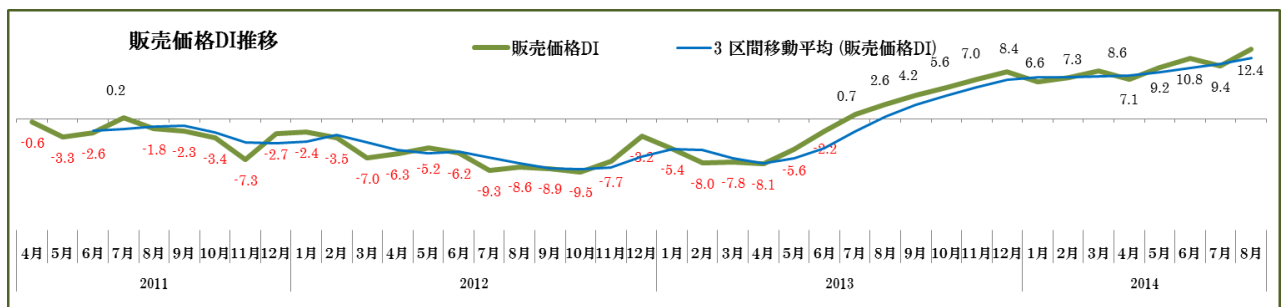
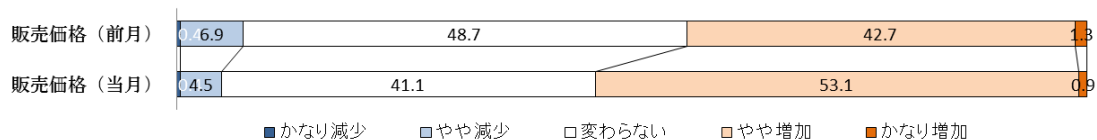
#### ④来客数 DI

税率引き上げ後の下落から回復をみせず



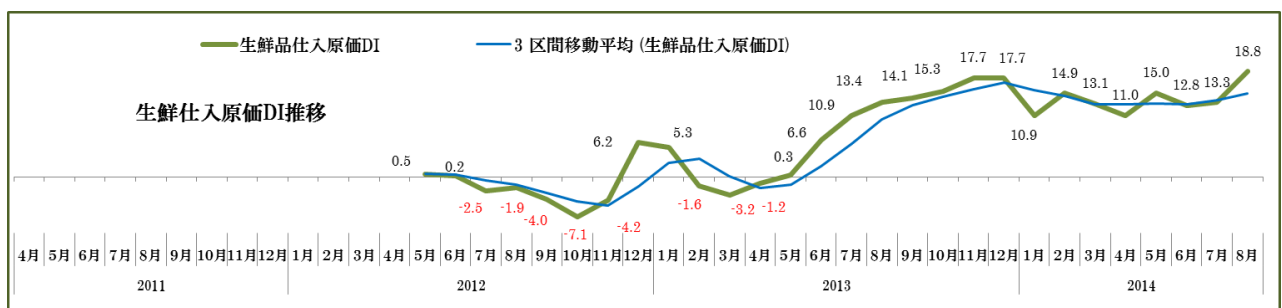
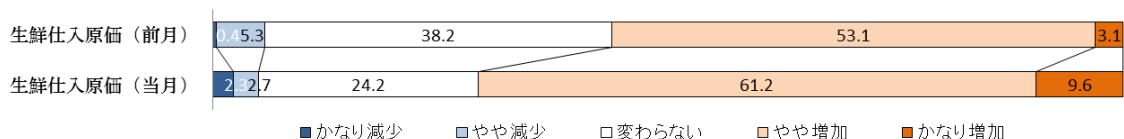
#### ⑤販売価格 DI

ゆるやかに上昇し、高水準で横ばい傾向



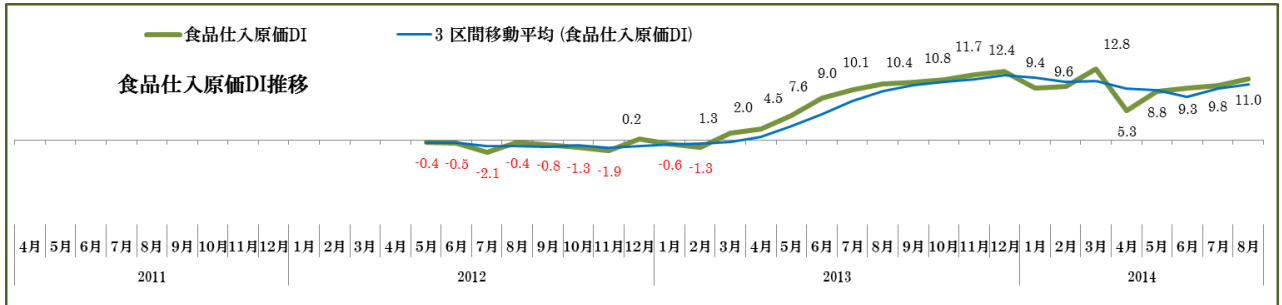
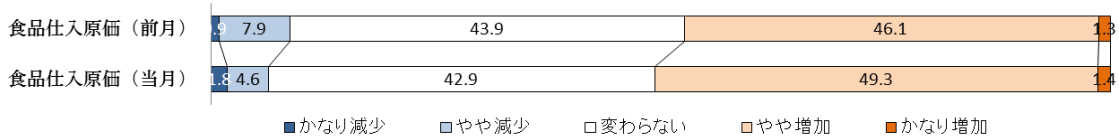
#### ⑥生鮮仕入原価 DI

8月再び上昇し、高水準を記録



## ⑦食品仕入原価 DI

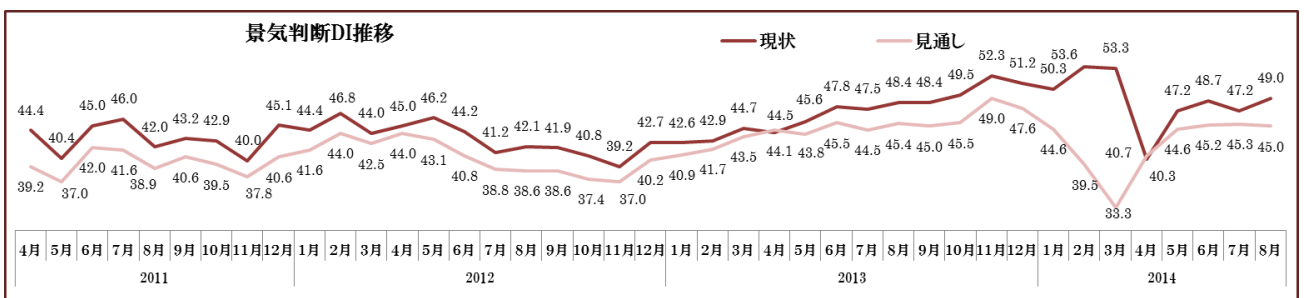
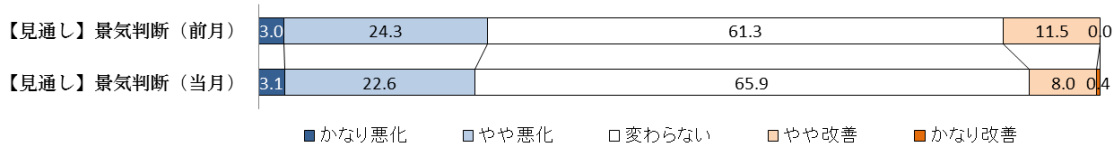
ゆるやかに上昇傾向



## 2. 景況感調査

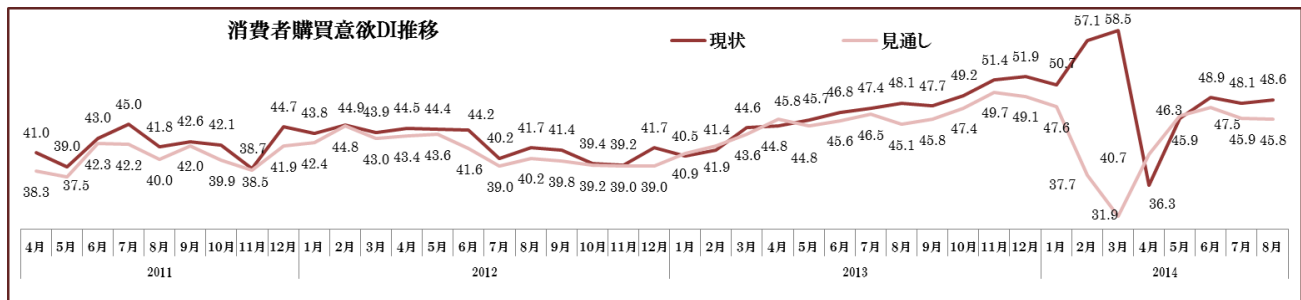
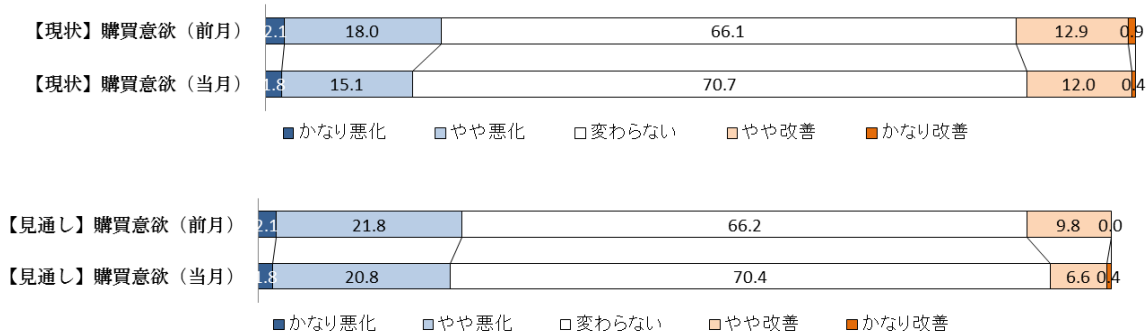
### ①景気判断 DI

現状判断の改善傾向、見通し判断は横ばい推移



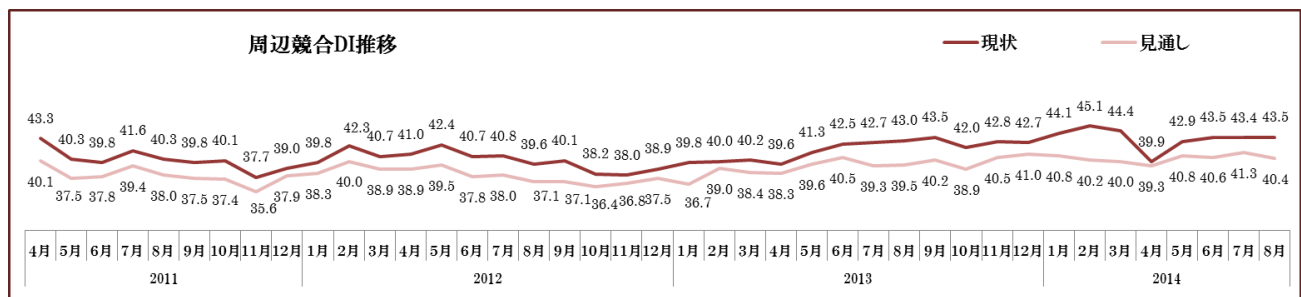
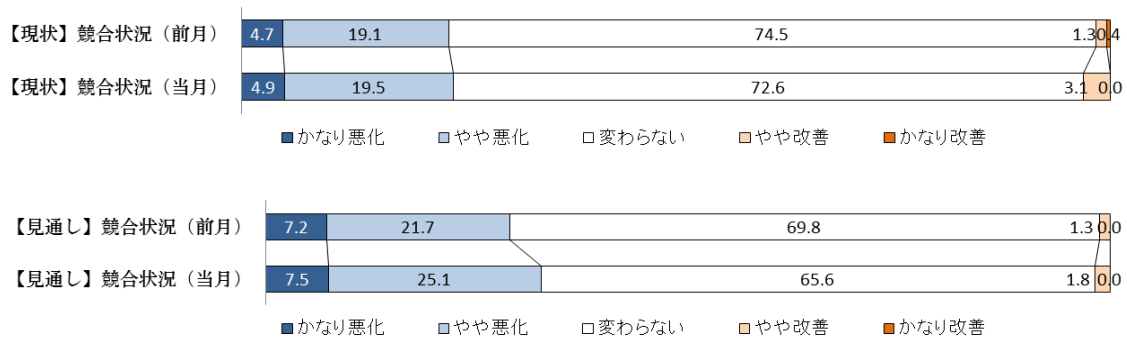
## ②消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に横ばい推移



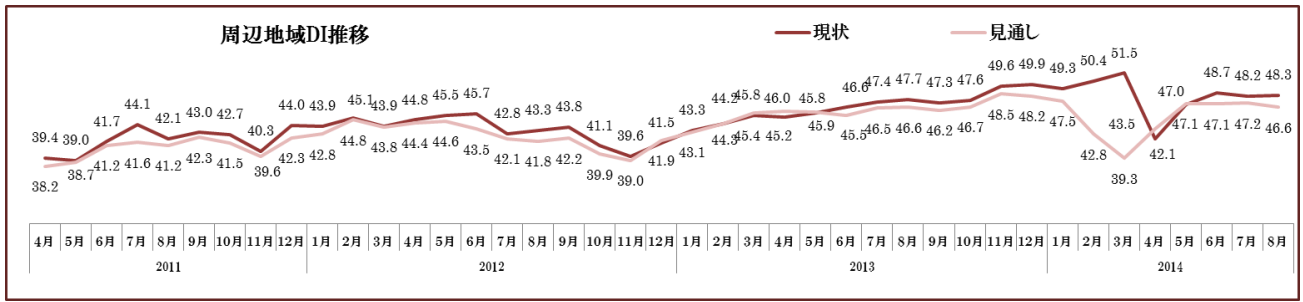
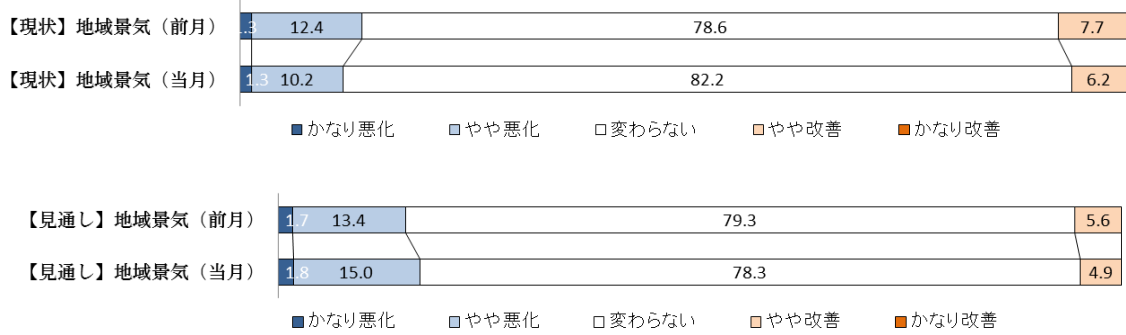
## ③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



#### ④周辺地域景気判断 DI

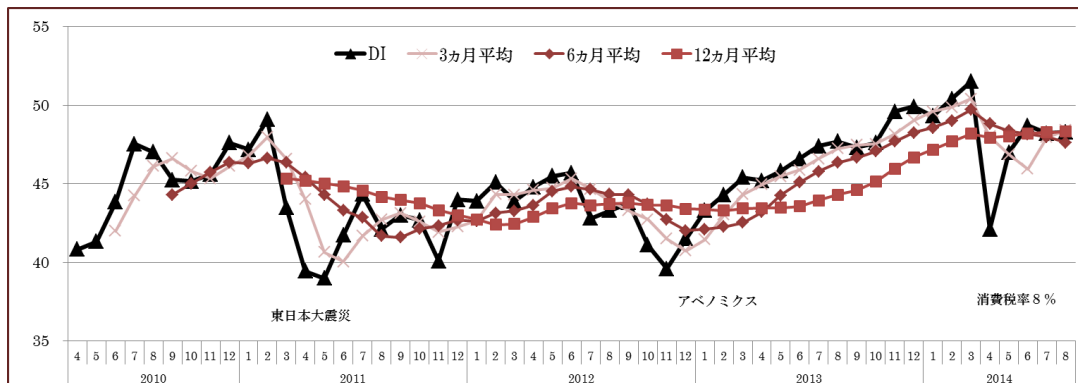
現状、見通し判断は共に横ばい傾向



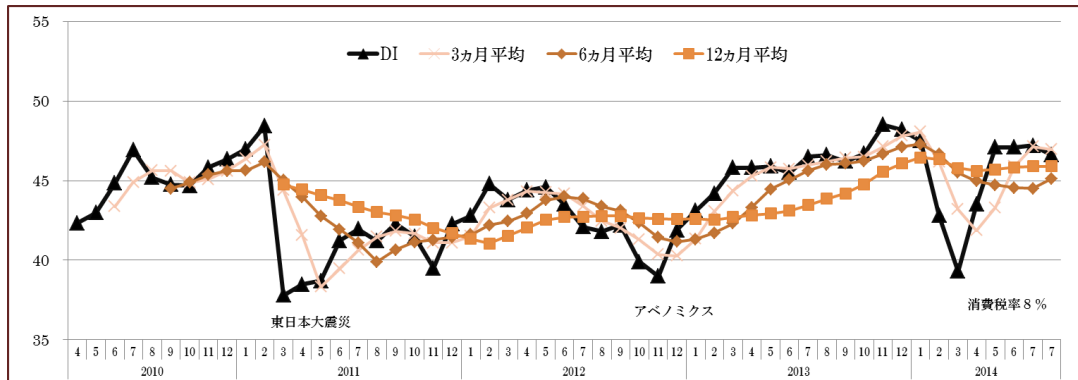
#### 長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、5月に中長期移動線付近まで改善をみせたが、6月以降3ヵ月連続で横ばい推移が続いている。方向感がなくなりトレンドが見えない局面にあるといえる。見通し判断は、わずかに中長期移動線の上方に位置しているものの、勢いのない動きとなっている。

#### 現状判断（中長期傾向）

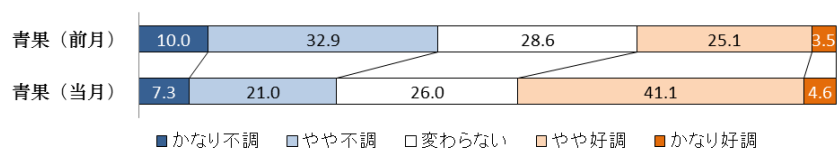


#### 見通し判断（中長期傾向）



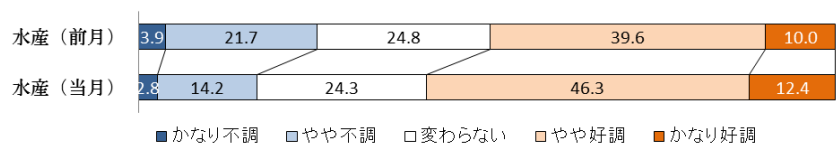
### III. カテゴリー別動向

【青果】 やや好調 DI: 3.7 (前月 - 5.2)



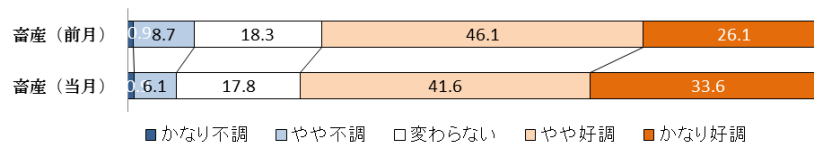
	好調コメント	不調コメント
青果	お盆以降野菜相場高、カット野菜、カットフルーツ	品不足、すいか

【水産】 好調 DI: 12.8 (前月 7.5)



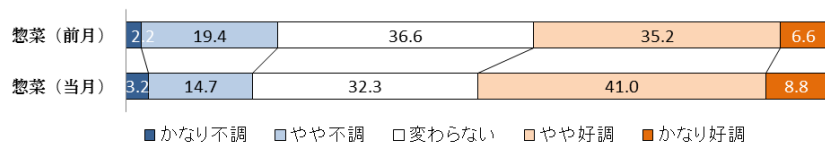
	好調コメント	不調コメント
水産	刺身、さんま、まぐろ、塩干	不漁・入荷不振、価格高騰

【畜産】 かなり好調 DI: 25.2 (前月 22.0)



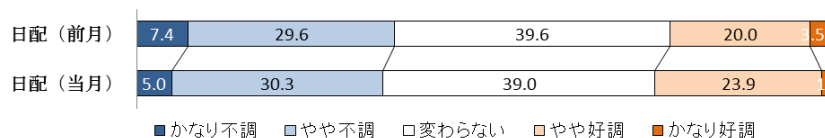
	好調コメント	不調コメント
畜産	相場高(牛、豚)、国産牛、豚、焼肉	(加工品)

【惣菜】 やや好調 DI: 8.8 (前月 6.6)



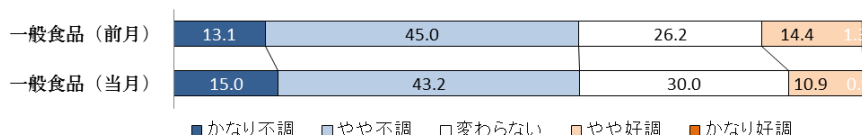
	好調コメント	不調コメント
惣菜	お盆商材(寿司)、(揚物)	天候要因、

【日配】 やや不調 DI: **-3.2** (前月 **-4.3**)



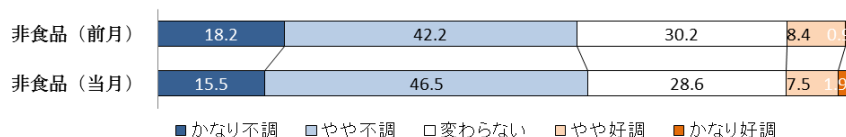
	好調コメント	不調コメント
日配	パン、	アイスクリーム、乳製品(ヨーグルト)

【一般食品】 不調 DI: **-15.1** (前月 **-13.5**)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	菓子、酒	飲料、米、夏物商材、他業態との価格競争

【非食品】 不調 DI: **-16.5** (前月 **-17.1**)



	好調コメント	不調コメント
非食品	紙製品	他業態との競合、たばこ、季節品

( ) は少数コメント

DIによる好不調判断

**かなり好調**: 20 以上    **好調**: 10~20    **やや好調**: 0~10  
**かなり不調**: -20 以下    **不調**: -20~-10    **やや不調**: -10~-0

2014年8月キーワード TOP3

1. 天候要因(前年との気温差、豪雨)
2. 日曜日が1回多い
3. お盆商戦

スーパーマーケット景気動向調査

8月実績速報版集計 227社  
 7月実績確報版集計 235社